

# ★ 三菱ガス化学株式会社 新潟工場

# 環境 - 安全報告書

# レスポンシブル·ケア 2016年度







目	次
$\boldsymbol{\mu}$	ソト

	ц у	頁
•	・はじめに	2
•	▶ 新潟工場の概要	3
•	・新潟工場 環境·安全·品質方針	5
•	<ul><li>新潟工場の環境・安全活動</li></ul>	6
	◇ 年間目標と重点項目	6
•	<ul><li>新潟工場の環境・安全活動概況</li></ul>	7
	◇ 環境保全	7
	省エネルギーの推進	
	産業廃棄物排出量の削減	
	大気、排水、臭気、騒音への対応	
	リサイクルへの取組み	
	◇ 労働安全衛生 ····································	11
	安全活動	
	◇ 保安防災	12
	保安防災活動	
	◇ 化学品安全	12
	品質・安全管理の徹底・顧客満足度のアップ	
•	<ul><li>地域社会との交流</li></ul>	13
4	<ul><li>新潟工場への代表的な質問</li></ul>	14

# はじめに



執行役員 新潟工場長 高木 俊哉

三菱ガス化学株式会社新潟工場は、天然ガスをベースに製造されるメタノールや アンモニアを利用し、数々の特徴のある化学製品を製造しています。

昨年、国内産天然ガスを原料とし、長年に渡り製造運転を続けたアンモニア製造装置を停止いたしました。これまで多くの収益をもたらしたプラントでありましたが、装置の高経年化および昨今の経済状況を踏まえ停止を決断いたしました。一方で、日本で唯一生産しているメチルアミンは、同じく高経年化したプラントでありますが、新たに同製造装置の建設を行い、生産を続けてまいります。また、弊社の主力製品で積極的に海外展開を図っておりますメタノールにつきましては、更なる製造技術開発を目的としてパイロット装置を新たに設置いたしました。このように、事業環境を考慮し、保安確保に向けた投資をしつつ、蓄積した技術を後の世代へ繋げ、社会発展に貢献していく運営を目指しております。

新潟工場は昨年高圧ガス認定工場として経済産業省より更新認定されました。これからも第三者による評価や高度な自主保安活動を通じ、安全・安定運転を目指してまいります。

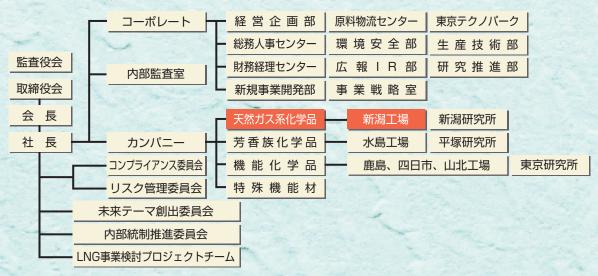
本レポートは、新潟工場における保安防災の他、環境保全等にかかる自主活動、レスポンシブル・ケア(RC)活動の昨年一年間の実績を、写真、図、データ等で皆様にご報告するものです。ご一読いただき、当工場の活動にご理解をいただく一助となれば幸いです。企業活動を通じて社会と地域の皆様に信頼され、地域の活性化に貢献できる工場に育てていきたいと切に考えております。

今後もより一層のご支援とご指導を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

# 新潟工場の概要

### 当社の構成

当社はカンパニー制を採用しています。事業主体である四つのカンパニーと、経営スタッフであり カンパニーをサポートするコーポレートから構成されています。新潟工場は、天然ガスを基盤に事業 展開する天然ガス系化学品カンパニーに所属しています。



## 新潟工場の概要

当工場は、日本海を戴く越後平野に立地し、阿賀野川の豊富な水と緑の環境の中で、自然と調和しな がら、新潟地区の豊かな天然ガスをベースに、独自技術展開により発展を遂げてきました。

昭和27年、新潟市内榎地区での天然ガスを原料としたメタノール合成プラントをスタートにし、ア ンモニア・尿素およびその誘導品(ホルマリン、メチルアミン、青酸、メタキシレンジアミン(MXDA) 等)の展開、事業化を行ってきました。天然ガスを起点とする展開はさらに、メタクリル酸エステル類、 合成樹脂(MXナイロン、特殊ポリエステル、特殊アクリル系樹脂、シアネート樹脂等)、電子工業薬品 (超純アンモニア水等)、ライフサイエンス製品へと拡がっています。現在では新潟産出の天然ガスを 原料とした製品はありませんが、CO2排出が少なくクリーンな燃料として、電力を含めた工場内のエネ ルギー供給に天然ガスを利用しており、特徴ある天然ガス系化学系工場となっています。



- 所 在 地
- ▶敷地面積
- 従業員数
- ●取扱製品
- ●売上高
- ●特

新潟市北区松浜町3500番地

740,966㎡(石災法上のレイアウト規制面積)

517人(2015年12月末)

メタノール・アンモニアの誘導品

419.7億円(2015年度)

自然と調和する天然ガス系化学工場

独自技術によるユニークな製品

### 認証取得

### ◆国際標準の導入

当工場は、品質管理や環境保全に国際標準を積極的に導入し、社会からの信頼の向上に努めています。1995年1月にISO 9001を、1998年6月にISO 14001を認証取得しました。認証取得以降毎年定期監査と3年毎の更新監査を受審しています。







ISO14001認定証

現在ではISO9001,14001は2015年度版への切替に向けた準備を進めています。

### ◆高圧ガス認定取得

当工場は1956年に高圧ガス製造許可を得て以来、50余年間に亘り高圧ガス製造技術の向上と共に 化学製品を市場に安定供給し続けています。

操業開始以来、工場の保安技術の改善を進めており、自主保安体制が確立した事業所として2000年に高圧ガス認定完成(保安)検査実施者を取得し、その後2005年、2010年、2015年と、5年毎の更新審査を経て引き続き安全に運転を実施しています。

自主保全をさらに推進し、安全・安定運転のため、より一層の保安技術の研鑽に努めてまいります。

### ◆ボイラー等の開放検査周期認定取得から更にその更新認定に向けて

1997年12月にボイラー及び第一種圧力容器45基について、運転や保守に関する管理体制が確立し、定められた基準に基づく高度な管理や自主検査が確実に行われていること等が認められ、2年連続運転(開放検査周期)の認定を取得しました。以来、開放検査周期認定を取得した機器を徐々に増やし、2016年3月末現在で71基のボイラー及び第一種圧力容器について開放検査周期認定を取得し、当工場のボイラー等の安全管理に高い評価を受けています。

# 新規プラントの紹介



MGCの重点強化事業の一つに1966年以来生産を継続しているメチルアミンがあります。国内唯一のサプライヤーとして、顧客への安定供給責任を果たすことを目的として、老朽化が進んでいるメチルアミン装置を更新することを決定いたしました。

新装置は旧装置よりも省エネ機器が増え、現在商業運転に向け確認運転中です。今後は、メチルアミン誘導品の新たな製品への更なる展開が期待されています。

# 新潟工場 環境·安全·品質方針

# 環境·安全·品質方針

三菱ガス化学新潟工場は、クリーンエネルギーである天然ガスを生産、利用 して特色のある化学製品を製造している天然ガス系化学工場です。

当工場は、「事業活動の最優先は安全の確保」を事業存立のための基盤とし、「環境負荷低減」「無事故・無災害」「安全・安心・安定操業」を目標に掲げ、地球環境と地域に調和した安全で明るい工場を目指し、より良い製品を提供する生産活動に努め、社会の発展に貢献します。

- 1. 環境・安全・品質関係の法令、協定、社内規程を遵守する。
- 2. 品質を通じて顧客満足の獲得を図るとともに、環境・安全を通じて地域との共生を図る。
- 3. 設備の保安管理を確実なものとし、自主保安技術の向上に努めると共に、事業活動において保安に影響を与える危険源への適切な対処に努める。
- 4. 環境・安全・品質及びRCマネージメントシステムを確実に運用管理し、継続的に改善・向上 させることにより、環境汚染、事故災害、不良品発生を未然に防止する。
- 5. 環境・安全・品質方針に従い、目標を設定し、定期的に見直すと共に、具体的な活動計画を 策定し、その達成に努める。
- 6. 教育、社内広報活動を通じて、当工場の全従業員に、環境・安全・品質方針を周知させると共に、社外にも公開する。

2016年 4月 1日

三菱ガス化学株式会社 執行役員 新潟工場長

高木俊哉

★三菱ガス化学株式会社

# 新潟工場の環境・安全活動

# 年間目標と重点項目

3				
		全社基本方針	活動目標	具 体 的 な 実 施 事 項
信 3 音 往	労動安全衛生	操業における 健康、安全の 確保	以下の取組みにより事故・災害ゼロを目指す ①ヒヤリハット提案活動の全員参加、 KY活動、TPM、5S活動の継続 ②コミュニケーション充実によるヒューマンエラー撲滅 ③過去事例教育、類似事故事例の周知、再発防止のための水平展開の実施 ④協力会社労災防止のため、支援、コミュニケーションの充実の継続 ⑤化学物質の危険・有害性の調査に係る 改正労安法対応の推進	◆安全衛生委員会によるヒヤリ気懸り提案の参加・達成状況追跡の実施、ヒヤリキャンペーンの実施及び事例解析・啓蒙の実施。 ◆徹底した不具合摘出と復元、改善の実施5S活動による業務改善の実施。 ◆保全道場での教育の実施、設備異常の有無を判断できるオペレータの育成。 ◆外部講師を招いたヒューマンエラー講習会の実施。 ◆Bridge活動に則ってコミュニケーションの充実。 ◆異常・災害に対する「なぜなぜ分析」の継続。 ◆Bridge活動に沿って、トラブル理解度システムの運用継続。 ◆事故情報・法関連情報の工場内周知、水平展開の実施。 ◆災害情報の共有及び災害防止の相互啓発を図る。 ◆労働監督署説明会に参加、内容の周知を図る。 ◆計画的な改正労安法への対応の実施。
3	宋 安 防 災	自主保安技術 と現場力の向 上による保安 の確保	(1) Bridge体制は安全担当による横櫛組織とし、全員参加となる活動を活性化させる。 (2) 「保安力評価システム」を導入し、計画的に実施。 (3) 非定常時のリスクアセスメントおよび変更管理・安全審査フォローアップを確実に実施。 (4) 「教育ガイドライン」に沿った教育内容の充実と「教育訓練実施要領」に沿った教育訓練の確実な実施。 (5) 「保安事故防止ガイドライン」や過去事例から分かった弱みについてPDCAサイクルで改善を図る。 (6) 防災訓練や、近隣関係会社等及び公設消防との間の緊急時対応訓練を通じ、防火体制をより充実させる。 (7) 高圧ガス認定更新に向け、計画的に準備を進める。 (8) 設備の包括管理できる体制の整備。	<ul> <li>◆定期的に安全担当者会議を開き、各種活動の進捗確認、検討、議論等の実施。</li> <li>◆保安力評価システムの導入推進、他部門と協力し評価を進める。</li> <li>◆非定常作業における危険源の特定解析の実施。</li> <li>◆従来判明している危険源及び非定常作業における危険源はPDCAサイクルによるリスク低減に向け活動する。</li> <li>◆変更管理及び安全審査のフォローアップの実施。</li> <li>・過去の教育訓練項目を参考に保安教育を立案・周知。</li> <li>「保安事故防止ガイドライン」での弱みについて計画的に改善の推進。</li> <li>・責任分界とそれぞれの役割を確認し、緊急対応訓練を実施する。</li> <li>◆工場全体の訓練シナリオに近隣関係会社等及び公設消防との情報伝達、指揮系統の明確化。</li> <li>・客急時想定訓練、大津波避難訓練等、訓練内容の工夫を図る。</li> <li>・高圧ガス認定要求事項・重点事項を確認し、申請書類等に反映させる。</li> <li>◆TPM活動、Bridge活動等、各種活動を「スパイラルアップ」を目指した一連の活動として進める。事故再発防止活動として、外部腐食検査員育成・配置に取り組み、その効果の堅守、システムの強化を図る。</li> <li>◆計画的な耐震評価、対策を進める。</li> <li>◆計画的な耐震評価、対策を進める。</li> <li>◆過去事故事例を踏まえ実施した対策案につき、整備管理上のリスクの積み残しがないか確認し、抽出された残存リスク管理は確実に引継ぎ、実行できる責任者を配置する。</li> </ul>
‡ 化	<b>環境</b> 保全	環境負荷の削 減と持続可能 な社会発展へ の貢献	ISO9001・14001統合システムの確実な運用 ①安全操業による品質安定化 ②環境管理計画の遂行 ③クレームの低減 ④事業所近隣の自然保護・環境美化活動に積極的に参加する	◆安定運転を通じて、環境・品質リスクと環境負荷の低減、品質安定化を図る。 ◆エネルギー原単位の削減、PRTR対象物質排出量維持削減、VOC排出量維持削減、ゼロエミッション比率の維持向上、グリーン購入の維持推進 ◆環境クレーム発生原因箇所を特定し、再発防止対策の立案により低減を図り、是正対策の有効性確認と水平展開、予防措置強化月間の確実な参加 ◆事務所近隣の地域のクリーン活動や森林保全活動など説教的に参加・協力する。
	化学品·製品安全	化学品の取扱 い・私用・廃棄 における安全 の確保	①製品及び原料SDSの最新版への反映 と周知 ②新製品開発時における安全性事前評価 の推進 ③REACH規制対応 ④薬品・試薬の管理強化	◆SDS最新情報の毎月の定期監査と工場への周知 ◆変更内容に応じて、品質審査、環境安全審査の確実な運用 ◆製品、原材料についての環境規制物質の対応の実施。REACHに対する知見 を深める。 ◆薬品・試薬リスト管理の強化。
井下がたちゃっ	物流安全	原料・製品の 物流における 環境・安全の 確保	物流における安全確保と環境負荷の低減 の推進 ①物流委託会社の安全監査の実施 ②物流交通事故対応訓練の実施	<ul><li>◆物流関連会社に安全監査を計画、工場内の協力を以て実施する。</li><li>◆物流交通事故の発生を想定した訓練を企画し、工場及び他工場の協力を得て実施する。</li></ul>
<b>社会</b>	社会との対話	ステークホル ダとの関係強 化	社会とのコミュニケーションの推進 ①環境安全報告書の発行 ②社会・環境への貢献活動への参加と、社会とのコミュニケーションを推進 ③日化協主催RC地域対話への参加	◆環境安全報告書の発行 ◆近隣交流行事への参加、近隣自治会会議への参加を通じて社会とのコミュニケーションを図る ◆新潟北地区RC地域対話の開催。
1 ( ) ( ) ( ) ( )	RC全般		①完工安全活動の支援。 ②他事業所のRC体制を参考にし、見直 しを図る。 ③規定類整備・運用の確実な実施	◆近隣環保室長会議を計画実施する。 ◆「情報連絡書」を関連会社に配信し、水平展開、事故防止等を図る。 ◆他事業所のRC監査へオブザーバーとして参加する。 ◆規程・基準類の見直し計画を立案し、確実に実施する。

# 新潟工場の環境・安全活動概況

### 環境保全

### 省エネルギーの推進

### ◆省エネルギーの実績

新潟工場では、エネルギーを合理的かつ有効に 使用することによって、地球温暖化防止に貢献す るとともに、限りある資源の有効利用を図り、環 境にやさしい工場とすることを目的として省エ ネルギー活動を実施しています。

活動の目標を、2015年から2017年までの3か年間で、新潟工場のエネルギー原単位を4%改善、換算年間生産量を30万tをベースとして23.5万GJとして、2014年想定値から1.5%改善、換算年間生産量30万tをベースとして8万GJ削減することを2015年度の環境目標と致しました。



### <2015年度の取り組み>

2015年度の省エネルギー対策として以下の項目の改善に取り組みました。

- ・メインボイラーB-801排ガスエコノマイザー追設、 脱気器及び給水ポンプの省エネ縮小更新
- ・排水ポンプ2台の省エネ停止
- ・冷却水送水ラインバイパス化による送水ポンプ 1台停止
- ・構内スチームトラップの適切管理
- ・室内照明の省エネ(LEDまたはHf化)、道路灯の LED化
- ・旧式エアコンの計画的更新 等 目標8万GJ削減に対し20.9万GJ削減(対目標値の 260%)を達成することができました。



## 産業廃棄物排出量の削減

### ◆産業廃棄物の委託処理量の実績

残念ながら2015年の廃棄物排出量は昨年実績を上回る結果となりました。これはアンモニア装置の解体作業に伴う産廃量増加とMMA装置における触媒変更に伴う廃触媒の産廃処理が要因です。

今後も、産業廃棄物排出量を削減すべく努力いたして参ります。



# 大気、排水、臭気、騒音への対応

### ◆大気汚染の防止

### <二酸化炭素(CO2)の排出実績>

省エネやNGLから天然ガスへの燃料転換により、地球温暖化の原因となるCO2排出量の削減に取り組んでいます。

2015年度はアンモニア装置の停止に伴い CO2排出量が大幅に減少する結果となりました。

【記】この数値は、購入電力の発電時に排出されるCO2を含んでいます。

NGL: 天然ガス産出時に随伴する原油



### <PRTRへの対応>

PRTR移動量とはPRTR物質の大気への排出量、事業所外への移動量、下水道への移動量等の合計数値で表されています。

2015年度はアンモニア装置停止に伴いPRTR移動量が減少しました。



ホルムアルデヒドの除害塔

#### ※主な対象物質

#### (下記の対象物質が大気又は排水中に放出される量です)

・エチレンオキシド・エピクロロヒドリン・無機シアン化合物・ジクロロメタン

·ホルムアルデヒド ·メタクリル酸

・メタクリル酸メチル・メタクリル酸エステル類

# 【記】PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) 污染物質排出·移動登録制度

事業者から、大気、水質、土壌への化学物質の排出量および廃棄物の移動量 について、行政機関がデータ収集・整理し、社会に公開する制度。2002年度か ら実施、対象となる化学物質(第一種指定化学物質)は462物質。

### ◆排水管理の徹底

### <活性汚泥処理設備>

当工場の製造工程から排出される汚水は、微生物の働きを利用した活性汚泥装置により清澄な水に浄化しています。

新井郷川への放出口には緊急遮断弁を設置しており、万が一工場内の排水に異常があったとしても、工場外へ異常排水を流さないシステムを構築しています。



高速凝集沈殿装置 (汚泥を沈降させ、澄明な上水を放流します)



総合排水路出口の緊急遮断弁 (異常排水を新井郷川に流さないための設備です)

### ·BODの排出濃度の実績

当工場の製造工程から排出される汚水を、活性汚泥処理設備で処理し、BODを一般河川と同等レベルまで処理した後、新井郷川へ放流しています。

#### 【記】

BOD(生物化学的酸素要求量)は水の汚れを示す指標で、微生物が汚れを分解する時に消費される酸素の量をいいます。

# 

### ・SSの排出濃度の実績

活性汚泥設備の安定運転に努める事により、SSの排出濃度を適正管理しています。 【記】

SS(浮遊物質量)は水の濁りを示す指標で、 工場から出る濁り分の他に原水(阿賀野川) の濁りも影響します。



### ◆臭気の削減

臭気を出さない事は勿論ですが、もし臭気が出た場合でも、すぐに検知し調査・対応が図れるよう、臭気センサーあるいはガス検知器は表門守衛所、工場中央、新井郷川沿いにを設置し、24時間の監視体制を構築しています。



表門守衛所の臭気センサー及びガス検知器



表門守衛所の臭気連続監視画面

### ◆騒音の削減

騒音源の多い製造施設を中心に、吸音材 の施工や消音器、防音壁の設置、敷地境界 への植栽面積増加を継続して行い、騒音レ ベルの低減に努めています。

また、周辺地域における定期的な騒音測定も実施し、状況監視に努めています。





植栽



消音器

# リサイクルへの取組み

事務用紙の使用量の管理、事務用品のグリーン購入を進め、環境への負荷軽減に努めています。 会議ではプロジェクターの有効活用の推進に努める一方、事務用紙の使用量削減を行っています。 【記】グリーン購入

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際、環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持っています。

### 労働安全衛生

### 安全活動

### ◆労働災害発生状況の推移

三菱ガス化学㈱新潟工場の休業災害件数は2011年度より0件を継続しています。しかし当工場の操業においてご協力を戴いている協力会社の労災件数は、ここ数年不休業災害を含めて横ばいとなっています。

協力会社との連携を強め、様々な対策を採り、労災ゼロを目指します。



管理者によるパトロールの様子



### ◆無事故・無災害に向けての取組み

新潟工場は、高圧ガス保安(完成)検査認定工場、 ボイラー等開放周期認定工場として、高度な自主 保安が求められています。

各個人の力量アップを図る教育訓練設備(ミニプラント等を教材とした「保全道場」、運転訓練シミュレーターを用いた「プロセス道場」)やTPM (Total Productive Maintenance)活動等を通じた事故・災害防止、設備・プロセス改善に取り組んでいます。また、新潟工場は日本海に面した工場立地であることから外部腐食環境が厳しい工場であり、外部腐食対策は最重要課題として外部腐食検査員制度の導入や厳しい検査基準を設け、管理強化に努めています。



保全道場での教育風景



外部腐食検査員認定教育風景



プロセス道場での教育風景

# 保安防災

### 保安防災活動

#### ◆防災訓練

毎年実施している防災訓練には、地震による津波が発生したという想定での避難訓練、総合防災訓練、夜間の緊急連絡・駆付訓練や消火器での消火訓練、消火栓による放水訓練、ページング・無線交信訓練等があり、年間計画に従って実施しています。

2015年度は構内で、薬品漏洩による被液と別の装置での火災が同時発生したという想定で実施、工場内の協力会社、新潟市消防局・新潟西港共同防災にも参加していただきました。





### ◆物流事故を想定した訓練

化学工場では、多くの化学物質、製品を運搬しています。

昨年度は小田原付近にて、新潟工場から運送していたトラックが事故を起こし、運搬物から危険物が漏洩したという想定で、三菱ガス化学㈱本社、新潟工場、山北工場、運搬業者である日新運輸㈱と協同して物流想定訓練を実施しました。

### 化学品安全

### 品質・安全管理の徹底・顧客満足度のアップ

ISO9001、14001の認証取得による安全・品質管理はもちろんのこと、製品、原材料、中間体や廃棄物に至るまでSDSを完備しています。また、万が一の物流事故に備え応急措置時の安全情報を記載したイエローカードの携帯、小型容器イエローカードを導入等、徹底した安全管理の強化に努めています。



新規健康食品素材PQQ(ピロロキノリンキノン)



プラスチックの女王 メタクリル酸メチル

#### 【SDS (Safety Data sheet) 製品安全データシート】

化学製品を安全に取り扱うために必要な情報(物理的/化学的性質、危険性、有害性など)を記載した小冊子。化学製品の事故・災害を未然に防止することを目的に、供給者から使用者や取扱事業者に製品毎に配付します。

# 地域社会との交流

私たちは地域社会との共生を目指して、さまざまな機会を利用して地域の皆さんとのコミュニケーションを図っています。



毎年、新年に行われる松浜・南浜・濁川の3地区 合同出初め式に、当工場の化学消防車も参加し、 地域の防災行事に協力しています。



新潟市のシンボルである萬代橋をメインに行われる「新潟まつり大民謡流し」に参加し、地域との親睦と融和を図っています。



周辺住民や学生等、幅広い皆様に工場を見学して戴いております。

(写真:新潟医療福祉大学の学生さんの見学風景)



毎年行われる春・秋の交通安全週間中、地域住 民の道路横断者の安全を目的として旗振りを 行っています。



海辺の森周辺整備協議会主催の保全活動に当工 場も参加しています。保全活動を通じ、工場周辺の 方々との交流・親睦を深めています。



新潟北地区RC地域対話(主催 日本化学工業協会(日化協)、共催(㈱クラレ、北興化学工業㈱、MGC)を開催し、工場近隣自治会の方々にご来場いただきました。日化協による講演のほか、工場内見学、立食による意見交換会が行われ、参加者の方々に好評をいただきました。

### ◆新潟工場への代表的な質問



▲ これは火事ではありません。 上の写真はフレアスタックと呼ばれる設備 です。ガスを煙突の先で安全に燃焼させ、ガス に含まる有害成分を焼却することでガスを無 害化するために行う処置です。 たくさんの白い煙が出ていますが、身体に害はないのですか?



▲ 上の写真は冷却塔と呼ばれる装置です。こ の装置から出る白い煙のほとんどは水蒸気で 人体には影響がありません。

当工場は新潟市と公害に関する協定を結んでおり、煙突から大気に放出するガスに関して、窒素酸化物量、硫黄酸化物量等、規定されています。定められた項目に関して、大気に放出するガスを測定し、協定範囲以下で大気に放出していることを確認しています。



▲ 当工場は24時間365日休みなく操業しています。そのため、安全を確認するため、パトロールを適時実施しています。

夜間おいては特に、従業員が安全に移動し、 各種確認作業をするため、多くの照明を設置 し、通路を確保することが必要となります。 

▲ 工場内には化学消防車を配置しています。 また、万一災害が発生した場合に対応できる 様、定期的に訓練しています。

災害が発生した時は、直ぐに消防署に通報するのは勿論ですが、緊急時には防火防災隊と呼ばれる自警組織を設置し、災害に対処致します。また、新潟西港共同防災殿とも協力関係にあり、同様に災害に対処するシステムとなっています。



#### ●お問い合わせ

# ★ 三菱ガス化学株式会社 新潟工場

環境安全室 環境安全グループ

〒950-3121 新潟市北区松浜町3500番地 TEL. (025) 259-3158 FAX. (025) 259-3945

